

北九州市民の会ニュース

武内市政の問題点 浮き彫りに

日本共産党市議団 市政懇談会で要望続々

北九州市の9月定例会（決算議会）が9月5日から10月8日までの日程で開かれています。

この9月議会の開会にあたり、日本共産党市政懇談会が、9月8日午後2時から小倉北区の市立男女共同参画センタームーブで開催されました。8名の市議と、うど浩一郎（小倉南区）・きた時子（八幡東区）予定候補が出席しました。

山内涼成党市議団幹事長がパワーポイントをつかって基調報告し、武内市政の問題点を浮き彫りにしました。

参加者からの鋭い説明や要望に対して各議員より丁寧な返答がなされ有意義な懇談会となりました。



多くの市民が駆けつけた市民懇談会

福岡県革新懇第31回総会開かれる 活動方針、決算・予算を承認



9月14日午後、福岡教育会館で上記総会が開催されました。参加人数は63名。

総会に先立ち、全国革新懇事務室長の小田川義和氏の講演があった。テーマは「歴史的転換点を迎えて革新懇運動の果たすべき役割はなにか」。

総会では、「活動報告と活動方針」、「決算報告と予算提案」、役員改選提案がなされ承認されました。

講演会・総会の結果は、県革新懇ニュース10月号（10月6日ごろ発行）で報告、「小田川講演」録画は後日配信予定です。

第44回福岡県自治体フォーラムの御案内

『戦争の準備』ではなく『平和の準備』を

10/27(日)

どなたでも
気軽に御参加を

全体集会 (10 ~ 12 時)

記念講演・日米軍事一体化と憲法 … 9 条空文化で立憲主義の危機 — 『有事』と『平時』の区別を重視した 日本の法制が大きく変わる

城野一憲・福岡大学准教授 (憲法学)



- 分科会 (13 ~ 16 時) ※ 昼休みの弁当は各自で御用意ください
- 1 日米軍事一体化のもとで『わたしたちの街』は、今?**
問題提起と進行: 片山純子 (元予備校講師)
あいさつ: 石川建治・九州大学名誉教授 (政治学)
報告① 安保 3 文書と特定利用港湾・空港の指定について・長能正義 (平和問題研究家)
報告② 福岡市と平和の問題について・堀内敬夫 (福岡市議)
報告③ 築城基地と周辺住民について・徳永克子 (行橋市議)
質疑応答、意見交換、まとめ
 - 2 日米軍事一体化の下で職場はどう変わるか・老いも若きも男も女も交流会**
* コーディネーター 築城さとこ (運営委員)、懸谷一 (県自治労連)
* 助言者・境 公雄 (前大木町長)
講演・「補充的指示権」と地方自治、小原清信・久留米大学法学部教授
関連資料読み合わせ、質疑・意見交換・交流
まとめ 小原教授
 - 3 日本の食料・農業は大丈夫か**
* コーディネーター 若元泉・鹿児島大学名誉教授
報告① 辰巳佳寿子 (福岡大学教授)・住民自治を促す生活農業: 山口県阿武町の農地を守る活動を事例に
報告② 宮崎康徳 (福岡県自治体研究所・研究員)・学校給食無償化の課題
報告③ 河村陽菜 (九大公認学生サークル I TOP)・食を通じた街づくりの活動 (仮題)
 - 4 県下のまちづくり運動の現状とこれから**
* コーディネーター・齋藤輝二 (元東和大学教授)、新谷肇一 (有明高専名誉教授)
報告① 大年田の歴史と文化を活かしたまちづくり-市庁舎保存問題を軸に・古川 学 (建築家・新建福岡支部幹事)、
報告② 箱崎キャンパス跡地の現在地とこれから・原田恒夫 (九大跡地を考える会・事務局次長、気象予報士)
報告③ 初代門司駅遺構の保存運動から見えてきたもの・山隈 玄 (北九州市職員 O B)
 - 5 住民の暮らしと福祉**
一離婚後「共同親権」の民法改定を通して考える、その現実と背景
* コーディネーター 羽田野盛仁 (福岡県自治体問題研究所・事務局次長)
① 講話 「子どもや若者に関する取組の理念と実践の手がかりを考える」
藤田 博久 (福岡市社会福祉協議会・事業開発課業務アドバイザー)
② 現場から・DV・児童虐待の具体的なケースを紹介 羽田野盛仁 (元児童相談所 CW)
* 質疑討論 (参加者の保育関係者、シママ応援団 (母子家庭支援団体) の方々からの発言。「共同親権」問題と「夫婦別姓」問題は、表裏の関係にある。問題の根底には DV、ジェンダー不平等、行政の甚だしい脆弱さ、誤った方向性など今の日本が抱える様々な問題を取り上げる)
 - 6 特別講座・映画を学び楽しむ**
『真空地帯』(山本薩夫監督、1952年)に学ぶ
* 講師・矢野寛治 (映画評論家・作家)
* 矢野先生からのメッセージ・「真空地帯」とは旧軍の内務班のことである。非人間的、息すらもできない真空の世界のことである。野間宏の原作、野間宏は自分の体験を、軍隊の中とは何なのかを筆で詳らかにし、軍隊経験をもつ山本薩夫監督がその非人間性を、上官たちの狡猾さを、日常茶飯のいじめと暴力を映像化した。これは旧軍のお話だけではない。今の海自や陸自、空自の中に、似たような遺伝子は残っているのではないかと。それを危惧し、今回はこの作品を取り上げます。」
* スタッフ 杉谷雅博 (会員・映画愛好家)、是石喜文 (運営委員)、河谷靖 (会員)



第 16 回市民講座

九州・沖縄における軍事化の実態と背景

～北九州空港の軍事利用化～

市民が知らないところで、戦争の準備がすすめられています。自公政権は、閣議決定した、「安保 3 文書」にもとづいて、九州・沖縄の自衛隊基地をアメリカいなり対中国戦争の最前線基地にしようとしています。県内でも、敵基地攻撃による報復攻撃を想定した基地「強靱化」が築城基地など 13 の自衛隊基地ですめられ、土地利用規制法による住民監視体制がつけられています。さらに北九州空港の軍事利用を可能にする「特定利用

空港」を選定しました。市議会にも市民にもまともな説明もなく、武内市長の同意の下に強行されました。そして、小倉南区の「まつりみなみ」が陸上自衛隊小倉駐屯地で開催され、迷彩服の隊員が随歩し、隊員募集の機会にされています。だまっていたら、「戦争への道へ進んでいた」となってしまう危険。政府の軍事化のねらいと実態等について学習・交流をしましょう。みなさんのご参加をお願いします。

講演 **小泉 親司** さん
 日本共産党中央委員会・基地対策委員会責任者
 日本平和委員会常任理事
 主著『防衛問題の「常識」を斬る』(新日本出版社)
 『核軍事同盟と自衛隊』(新日本出版社)
 『日米軍事同盟史研究: 密約と虚構の五〇年』(新日本出版社)
 『今日の「日米同盟」を問う』(学習の友社)

とき **10 月 19 日 (土)** 午後 2 時より
 ところ **戸畑生涯学習センター 3 階 第 1 集会室**
 資料代 **300 円**

お願い: なお、座席数の制限により先着 70 名様とさせていただきます。

どなたでも参加できます
 主催 **平和とくらしを守る北九州市民の会**
 連絡先 北九州市小倉北区田町 13-21 ☎093-592-5000